



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月10日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金澤 良樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 佐藤 脩 TEL 042-300-7200
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	25,967	4.4	299	154.3	365	261.5	203	126.7
26年2月期第1四半期	24,866	13.7	117	△48.5	101	△56.9	89	—

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 203百万円 (606.3%) 26年2月期第1四半期 28百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	8.86	—
26年2月期第1四半期	3.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	69,675	25,536	36.7	1,111.62
26年2月期	67,800	25,677	37.9	1,117.77

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 25,536百万円 26年2月期 25,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年2月期	—				
27年2月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,800	4.6	600	171.5	550	207.3	240	300.0	10.45
通期	105,000	4.0	1,300	245.7	1,200	402.1	600	—	26.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

・詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期1Q	23,354,223株	26年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	382,170株	26年2月期	382,170株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期1Q	22,972,053株	26年2月期1Q	23,150,345株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の金融緩和政策・経済対策の効果もあり、企業収益が改善し、引き続き緩やかな景気回復の流れが続いております。一方で、海外では新興国における景気減速懸念や欧州での政治不安をはじめとする景気の先行きは依然として不透明なままであります。個人消費におきましても節約志向は変わらず、消費税率引き上げ直前の駆け込み需要がありました反面、その反動による影響は限定的とはいえ国内景気の下押しリスクは依然として解消されておらず、小売業にとっては厳しい経営環境が続いております。

こうした環境下、当社グループでは商品群別事業部制にて運営を行っていたハイパー（非食品）部門は、お客様満足度の向上と環境変化への対応スピードアップのため、その組織を3月1日付で「サイクルカンパニー」「ペットカンパニー」「DIY・ガーデニングカンパニー」「靴カンパニー」「ディスカウントカンパニー」に分け、社内カンパニー制を導入いたしました。

これは、専門店とディスカウント店をはっきり区分けし、専門店は専門店として独自に成り立たせ、ディスカウント店は日用消耗品を中心として、ディスカウント店本来の良さをアピールできる形にして、店舗も組織も整えるという明確な方針に基づくものであり、専門店においては、企画機能を充実させ、PBやOEM生産などを拡充し、ディスカウント店では、競合店より必ず1円でもお安く提供するということを徹底してまいりました。

フード部門では、EDLP（エブリディ・ロープライス）政策の継続とともに、生鮮三品を徹底的に強化し、特徴商品群、育成商品群の販売に注力するという方針のもと、ご来店客数及びお買上点数の増加に取り組んでまいりました。

中でも4月に実施いたしました「Olympic港北ニュータウン店」（神奈川県横浜市）の大幅改装では、新しいOlympicの食のコンセプトを追求すべく様々な試みを導入しました。フードコート「Piccoly」をリニューアルし、味と価格にとことんこだわった「トコトンしょうゆラーメン」やワンコインのランチプレートなど、メニュー、サービス、価格などをすべて一新いたしました。さらに5月には同店内に、厳選した独自輸入のコーヒー豆を店内で焙煎する、自家焙煎コーヒーショップ「GRAIN COFFEE ROASTER」をオープンし、香り高くおいしいこだわりの自家焙煎コーヒーをお安く提供しております。このような専門性の高い嗜好品の品揃え、サービスの提供により、昨年開設したワイン専門店「Olympic CELLAR」とともに、フード部門全体のストアロイヤリティの向上を図っております。

また、その他の既存店におきましても、4月に改装したスーパーマーケット「Olympic村山店」（東京都東大和市）をはじめとして、お客様に快適にお買い物を楽しんでいただける環境の整備にも努めてまいりました。

以上のような施策を積極的に展開した結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は259億67百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。また、経営資源の有効活用とコスト削減に努めた結果、営業利益は2億99百万円（前年同四半期比154.3%増）、経常利益は3億65百万円（前年同四半期比261.5%増）四半期純利益は2億3百万円（前年同四半期比126.7%増）となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18億74百万円増加し、696億75百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに商品が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ20億16百万円増加し、441億39百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億41百万円減少し、255億36百万円となりました。この要因は主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加と、配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績につきましては、平成26年4月10日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,572	4,027
受取手形及び売掛金	451	726
商品	11,363	11,906
その他	2,667	2,711
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,054	19,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,150	12,979
土地	13,491	13,491
その他(純額)	1,468	1,466
有形固定資産合計	28,110	27,938
無形固定資産	1,676	1,733
投資その他の資産		
敷金及び保証金	17,067	16,778
その他	3,891	3,853
投資その他の資産合計	20,959	20,632
固定資産合計	50,746	50,303
資産合計	67,800	69,675
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,552	10,820
短期借入金	19,263	18,145
未払法人税等	70	67
賞与引当金	228	426
貸借契約損失引当金	67	41
その他	2,871	3,774
流動負債合計	31,054	33,276
固定負債		
社債	792	715
長期借入金	7,348	7,285
資産除去債務	348	350
その他	2,580	2,512
固定負債合計	11,069	10,863
負債合計	42,123	44,139

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	5,949	5,808
自己株式	△291	△291
株主資本合計	25,433	25,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	244	244
その他の包括利益累計額合計	244	244
純資産合計	25,677	25,536
負債純資産合計	67,800	69,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	23,481	24,519
売上原価	15,839	16,933
売上総利益	7,642	7,586
営業収入	1,385	1,447
営業総利益	9,027	9,034
販売費及び一般管理費	8,909	8,734
営業利益	117	299
営業外収益		
受取利息	15	13
受取配当金	3	4
債務受入益	30	15
補助金収入	14	123
その他	19	8
営業外収益合計	83	164
営業外費用		
支払利息	99	97
その他	0	0
営業外費用合計	100	98
経常利益	101	365
特別利益		
投資有価証券売却益	102	—
特別利益合計	102	—
特別損失		
固定資産除却損	49	8
和解金	13	—
その他	1	—
特別損失合計	63	8
税金等調整前四半期純利益	139	357
法人税、住民税及び事業税	26	53
法人税等調整額	23	100
法人税等合計	50	153
少数株主損益調整前四半期純利益	89	203
四半期純利益	89	203

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89	203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60	△0
その他の包括利益合計	△60	△0
四半期包括利益	28	203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28	203

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。